

株主の皆さまへ

第12期 中間報告書

2024年12月発送

BUSINESS REPORT

CONTENTS

トップインタビュー	1
特集 広域渋谷圏のまちづくり	3
TOPICS	5
株主の皆さまへのご案内	9

株主の皆さまへ

WE ARE GREEN

誰もが自分らしく、輝ける未来へ

代表取締役社長
西川 弘典

第12期中間期を振り返って

当中間期のわが国経済は、旺盛なインバウンド需要や良好な企業収益を背景とした設備投資の増加、雇用情勢等の改善のもと、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループでは、底堅い住宅売買マーケットを背景としたマンション分譲や売買仲介の好調、また、ホテル事業においてインバウンド需要が高水準で推移したこと等により増収となりましたが、前期におけるアセット売却益計上の反動等により減益となりました。

第12期(2024年度)中間期業績

売上高	5,033億円
営業利益	505億円
経常利益	448億円
親会社株主に帰属する中間純利益	251億円

通期の見通しについて

通期の見通しにつきましては、国内外の景気変動や地政学リスクなど、依然として不透明な事業環境下ではあるものの、活況な不動産売買市況を背景とした、不動産売買・分譲や売買仲介の好調、ホテル・リゾート事業におけるインバウンド需要の取り込み等を考慮し、2024年5月10日に公表いたしました2025年3月期の通期の業績予想を上方修正いたしました。

第12期(2024年度)業績予想

売上高	1兆1,400億円
営業利益	1,350億円
経常利益	1,215億円
親会社株主に帰属する当期純利益	730億円

今後とも経済情勢の変動に機敏に対応し、グループの各事業が持つ強みと幅広い事業ウイング

を活かし、高い付加価値の創出を進めてまいります。

広域渋谷圏では、今年4月の「東急プラザ原宿『ハラカド』」開業につづき、7月には「Shibuya Sakura Stage」がまちびらきを迎えたことで、賑わいの広がりが生まれております。

当社は、渋谷のまちづくりを従来のハード中心からタウンマネジメントや渋谷らしさの源となるクリエイティブなカルチャーづくりの取り組みへと段階を進めています。今後とも、グループ横断でエリア価値を高め、渋谷を当社グループの真のホームグラウンドとして事業機会の拡大へとつなげてまいります。

本報告書において各施設をご紹介しますのでご一読いただけましたら幸いです。(P3～4をご参照ください。)

株主の皆さまへ

当社では、当面の株主還元方針を「配当性向30%以上」「安定的な配当の維持継続」と定め、株主還元に注力しております。この方針に基づき、今回の中間配当は1株につき1円増配の17円とさせていただきます。なお、年間配当は34円(対期初予想+2円、対前期+3円)を計画しております。

当社グループでは、2025年5月の公表に向け、次期中期経営計画の策定を進めております。

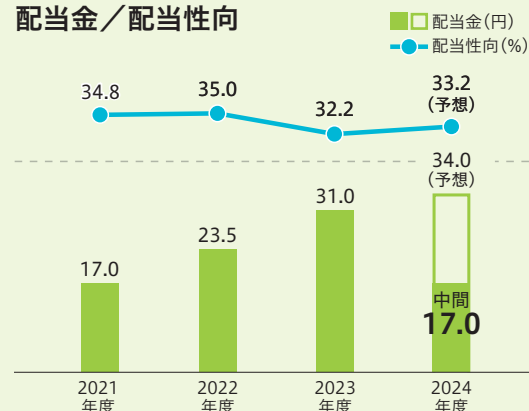
長期経営方針の再構築フェーズから、強靱化フェーズへと移行し、強固で独自性のある事業ポートフォリオの構築を図ってまいります。そのためにも、各事業における競争優位性の確立はも

ろんのこと、グループ内のバリューチェーンにより、産業・地域・環境などの側面から他社にはない高い付加価値を生み出し、その独自性を「プレミアムな価値」として対価に変えてまいります。また、産業育成や都市観光、地方創生、GXといった、地域課題や社会課題の解決につながる事業の芽を伸ばしていくことで、不動産市況に左右されない新たなコア事業の育成にも引き続き取り組みたいと思います。

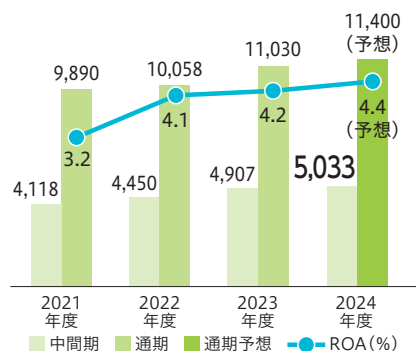
今後も長期経営方針で掲げる、全社方針の「環境経営」と「DX」を進めることで、幅広い事業領域を真の強みに変え、価値を創造し続ける企業グループをめざしてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

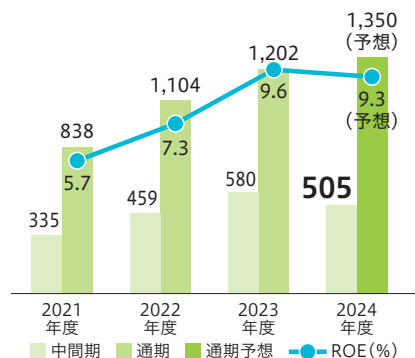
配当金／配当性向



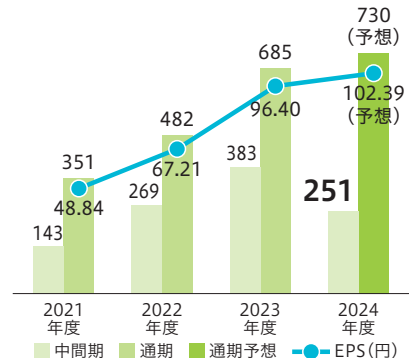
売上高(億円)／ROA(%)



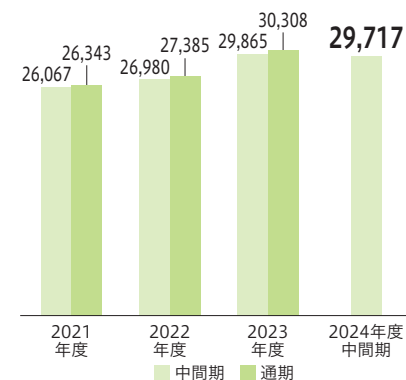
営業利益(億円)／ROE(%)



当期純利益※(億円)／EPS(円)(一株当たり当期純利益)



総資産(億円)



※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益を掲載しております。

POINT 1 売上高

底堅い住宅売買マーケットを背景としたマンション分譲や売買仲介の好調、また、ホテル事業においてインバウンド需要が高水準で推移したこと等により増収。

POINT 2 配当金

中間期決算及び株主還元方針等に基づき、中間配当は1株につき1円増配となる17円とし、年間配当は34円(対期初予想+2円、対前期+3円)を計画。

2024.7.25
OPEN
THE
GATE

めぐり歩いて、楽しいまち

Shibuya Sakura Stage

渋谷の新たな玄関口

「渋谷サクラステージ」、37店舗 7月25日一斉オープン



JR渋谷駅新南改札及び西口地下歩道との接続により、東西方向、南北方向の回遊動線ができました。さらに、縦軸動線「アーバン・コア」が地下から地上を複層的につなぎ、人々の新たな流れが生まれています。

4F

サ

ク

ヨ

ン

SAKURA YON

カルチャーとフードが交わり、新たなつながりが生まれる場「サクヨン」が誕生しました。渋谷エリア最大級の書店「TSUTAYA BOOKSTORE」や「[GAME]」を起点としたインディーズクリエイターの聖地をめざした渋谷のあそび場「404 Not Found」、桜丘に根付く“商店街”の個性を生かした新たなフードホール「FOOD MET(フードメット)」が登場しました。

3F

メイクアップブランド「KATE」初のグローバル旗艦店や、サンリオのショップなどが展開。イベントスペースやデジタルサイネージ、AR等のデジタル技術により、日本のコンテンツやポップカルチャーをリアルとデジタルの両面で世界に発信するフロアとして誕生しました。

B2

2F

5F

渋谷で働く・遊ぶ・暮らす人々の利便性の向上や「食」を通じた新たな体験との出会いの創造をテーマとして店舗を構成しています。

新たなトレンドやカルチャーの発信地
渋谷サクラステージで最先端の体験を。



3階「KATE」



4階「TSUTAYA BOOKSTORE」



「Shibuya Sakura Stage」



7F 「屋上テラス」



B1 「小杉湯原宿」
90年続く高円寺(東京都)の銭湯の2号店

ワクワクが止まらない

TOKYU PLAZA
HARAJUKU

H A
R A

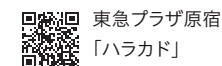
クリエイティブな仕掛け満載！
東急プラザ原宿「ハラカド」、個性豊かな75店舗 4月17日オープン

新しい価値を体験できる場所へ

クリエイターを育成・支援・共創するプラットフォームやリアル価値を最大限活用する新しい体験型メディアを実装。
チャレンジマインドあふれる個性豊かな店舗を揃えた新しい体験価値を享受できる「創造施設」が誕生しました。



東急不動産 WEBマガジン
「GREEN MAGAZINE」

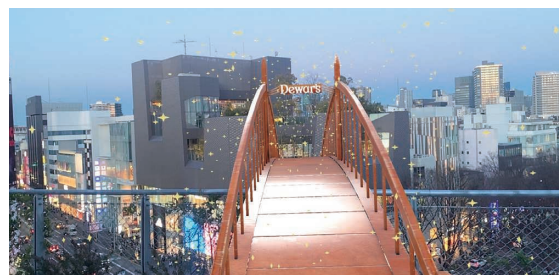


東急プラザ原宿
「ハラカド」



B1 日本特有の湯上がり文化を満喫する
新たな体験型メディア「チカイチ」

「小杉湯原宿」及び湯上がりゾーン「チカイチ」
では「素のまま、そのまま」をコンセプトに本質
や素に出会い、浸かれる銭湯を中心としたくらしの体験を提供します。



7F 体験型メディアの提供
ARを駆使したイベント開催

ウイスキーブランド「デュワーズ」のプレミアム
イベントを4月に開催し、ARを使って屋上テラスから一望できる原宿の景色をより楽しめる
体験を提供いたしました。

「広域渋谷圏」でめざす姿

大型プロジェクトが開業を迎え、これからの広域渋谷圏におけるまちづくりでは運営面にも注力してまいります。エリアや施設の継続的な価値向上を図るため、ハードとソフトの両輪で人と文化がスムーズに流動する広域渋谷圏の魅力をさらに向上させることにより、当社グループの「真のホームグラウンド化」をめざしてまいります。



価値を創造し続ける企業グループへ

TOPICS 1 「環境経営」の推進

環境先進企業として、「環境経営」を推進している当社グループでは、「脱炭素社会」「循環型社会」「生物多様性」の3つを重点課題と定め、具体的な取り組みを加速させています。

リゾート事業における「TNFDレポート(第3版)」を公開

当社ではTNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)に対応するため2023年8月に国内不動産業で初めてTNFDレポートを公開し、2024年1月に第2版、7月に第3版を開示いたしました。

東急リゾートタウン蓼科でのネイチャーポジティブ※への貢献

生態系サービスなどに影響を及ぼす可能性のある重要なインパクトとして、東急不動産(株)による開発開始以降の森林面積の変化を定量的に分析しました。その結果、森林面積は全体として増加傾向にあり、当社グループのリゾート開発・運営がネイチャーポジティブに貢献していると評価されました。豊かな植生と美しい景観が当タウン周辺の魅力を高め、人口の維持・増加などの側面で事業や地域を支えています。

※ ネイチャーポジティブは、自然生態系の損失を食い止め、回復させていくこと。



東急不動産ホールディングス
「TNFDレポート(第3版)」

●カラマツの予測分布域(緑色)

「東急リゾートタウン蓼科」
はカラマツ分布の中心部
とも呼べる地域



(出典: 樹シンク・ネイチャー)



カラマツの紅葉
(カラマツゴールド)



ノリウギ
(©Hedwig Storch/Licensed
under CC BY-SA 3.0)



ヤマブドウ
(© Anonymous Powered /
Licensed under CC BY-SA 3.0)

はじめまして!ボクは東急不動産の新キャラクター
「ふどうさん」です。

好きなものは自然とおさんぽ。
ボクは森育ちだけど環境に良い建物や
魅力的なスポットが増えている渋谷に
最近引っ越してきたのです。
東急不動産の環境の取り組みを
たくさん紹介していきます。



「東急不動産
CM特設サイト」



環境に、
全力TOKYU
FUDOSAN.

COLUMN

TENOHA 蓼科オープン



東急リゾートタウン蓼科
「TENOHA蓼科」

2024年7月「東急リゾートタウン蓼科」では、「地域連携」と「環境配慮」の価値創出および発信の拠点としてTENOHA蓼科をオープンしました。1978年に初めて別荘地を分譲して以来、当タウンでは、森林の保全活動を実施してきました。TENOHA蓼科内の壁面や家具、什器は全てタウン内の間伐材を使用して、TENOHA蓼科のコンセプトに共感いただいた地域の製材所や工房協力のもと製作するなど、地域連携の在り方を実現しています。



TENOHA 蓼科外観

撮影: 山内紀人



TENOHA 蓼科内装

国内大手不動産仲介会社で初めて、 国内全拠点の使用電力 100%再生可能エネルギー化

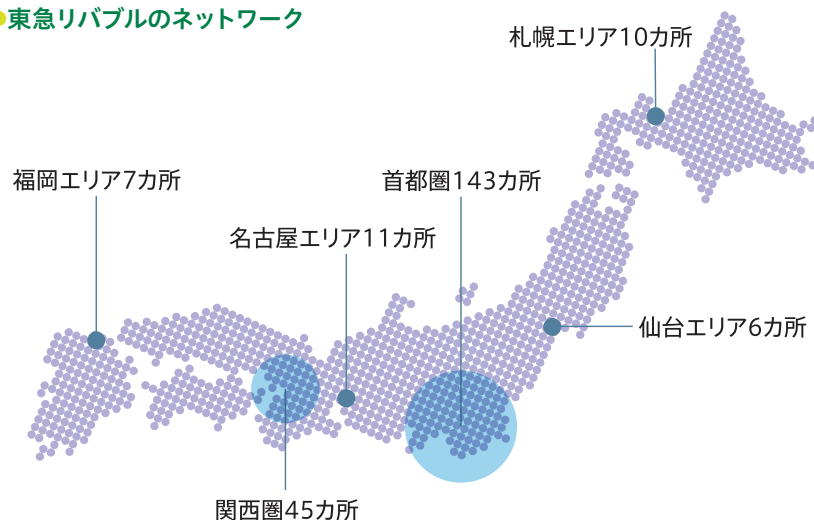
東急リバブル㈱が掲げるサステナビリティ戦略の施策の1つとして、国内の大手不動産仲介会社で初めて、国内拠点で使用する全ての電力を再生可能エネルギーに切り替えました。当社グループとしては、東急不動産㈱に続く100%再エネ化の実現に向けた取り組みです。

取り組みの概要

同社は、国内のリバブルネットワーク222カ所（2024年6月末時点）で使用する電力に対して当社グループの再エネ電力供給を担う㈱リエネを通じてトラッキング付FIT非化石証書※を取得しました。電力使用量約560万kWh（2023年度実績）相当の温室効果ガス排出量（約2,500t-CO₂）の削減効果を見込んでおり、事業を通じた環境価値の提供と脱炭素社会の実現をめざします。

※ 東急不動産㈱の発電する再生可能エネルギーのトラッキング付FIT非化石証書。

●東急リバブルのネットワーク



「GREEN AGENDA for BRANZ」 導入開始

環境先進マンション「BRANZ」が取り組む長期景観管理計画 2024年度グッドデザイン・ベスト100受賞※



GREEN AGENDA for BRANZは、東急不動産㈱、㈱東急コミュニティ、㈱石勝エクステリアが分譲マンション計画時から連携協力して取り組む、都市の生物多様性保全に貢献する全く新しい景観管理計画です。生物多様性の基盤となる植栽の竣工後10年間の管理計画を策定するだけでなく、住民の皆さまに対しても生物多様性について長期的に共感を育んでいただく取り組みが高く評価され、2024年度グッドデザイン・ベスト100に選定されました。

※ グッドデザイン賞は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催するわが国で唯一の総合的デザイン表彰制度であり、その中の特に優れたデザインとしてベスト100が選出。



GREEN AGENDA
for BRANZ

COLUMN

PT.Tokyu Land Indonesia

ウミガメ放流イベントを開催

PT.Tokyu Land Indonesiaでは“Empowering Ecosystem, Embracing Shared Vision”をテーマに掲げるCSR活動を推進し、2024年2月にはギリ・トラワンガン島にて、スタッフ約110名が参加する「ウミガメ放流イベント」を実施しました。環境保護団体によって孵化したウミガメの赤ちゃん約80匹を海岸から海に向かって放流し、海洋生態系保護の重要性について学ぶ貴重な機会となりました。



TOPICS 2

当社グループの新サービス

東急リバブル

「電話リレーサービス」を活用した
接客サポートサービスの提供を開始大手不動産
流通企業で
初の取り組み※1

聴覚や発話に困難のあるお客さまからのお問合せに対応

東急リバブル(株)は、聴覚や発話に困難のあるお客さまに向けて、主力事業である不動産売買仲介、及び賃貸仲介に関するご相談について、『電話リレーサービス※2』を活用した、接客サポートサービスの提供を開始いたしました。

同社では、事業の発展及び社会に貢献するための具体的アクションを会社理念と紐づけてサステナビリティ戦略とし、本取り組みの実施だけでなく、様々なサステナブルな施策を推進することで皆さまから「一番に選ばれる企業」をめざしています。



※1 同社調べ。公益財団法人不動産流通推進センターが発行する「2024不動産業統計集」の「不動産流通」項目にて統計され、年間取扱高2,000億円を超える不動産仲介大手11社が対象。各社WEBサイトにて電話リレーサービスを活用した仲介サービスの提供の有無を調査(2024年7月)。

※2 電話リレーサービスは、聴覚や発話に困難のある人(きこえない人)と、きこえる人(聴覚障害等以外の人)との会話を通訳オペレータが「手話」または「文字」と「音声」を通訳することにより、電話で即時双方向につながることができる、法律に基づいた公共インフラとしてのサービス。詳細は、一般財団法人日本財団電話リレーサービスのホームページをご参照ください。 <https://www.nftrs.or.jp>

東急コミュニティー

施設の未来価値を創造する
総合ファシリティマネジメントサービスを開始

デジタルツイン技術で施設を可視化し、施設管理における課題を解決

2024年7月、(株)東急コミュニティーは最先端のデジタルツイン技術を活用した「総合ファシリティマネジメントサービス」を開始いたしました。

これまで、施設管理に必要な多岐にわたる情報の収集に時間と手間を要していました。いち早くデジタルツイン技術を導入・活用することにより、施設の管理・運営情報を現実と紐づいたデジタル空間上に集約、施設の構造や設備情報を再現することで施設の「現状」を可視化し、施設管理の効率化を図ります。同時に、関係者間での情報共有や緊急時の迅速な対応、知識の共有にも活かします。

管理業務において「人手」「時間」「情報」の不足に対応した総合ファシリティマネジメントサービスにより、オーナー様の大切な資産である施設の未来価値に貢献します。

また、運営面では、施設のデジタルツインをホームページ上に公開することで、効率的な運営と利用者の利便性向上を図っています。



施設VRツアー

デジタルツイン上で施設内の確認、施設の利用検討が可能に。

TOPICS 3

グループの会社紹介

グループ従業員が一丸となって新たな価値創造に取り組んでいます

グループ会社一覧(2024年10月現在)



東急不動産ホールディングスグループは、主要5社ならびに関連会社により構成されています。

- 都市開発事業
- 戦略投資事業
- 管理運営事業

東急不動産

イーウェル
石勝エクステリア
伊豆観光開発
大多喜城ゴルフ倶楽部
佐倉ゴルフ開発
猿島カントリー
芝山ゴルフ倶楽部
タングラム斑尾
玉原東急リゾート
東急イーライフデザイン
東急少額短期保険
東急不動産キャピタル・マネジメント
東急不動産諮詢(上海)有限公司
東急不動産リート・マネジメント
東急不動産SCマネジメント
東急リゾート&ステイ
東急リゾート
ニセコ東急リゾート
日本住情報交流センター
ハンターマウンテン塩原
房総興発
ライフ&ワークデザイン
リエネ
Pacific Islands Development Corporation
PT.Tokyu Land Indonesia
TGR
TOKYU LAND ASIA PTE.LTD.
Tokyu Land US Corporation

- 管理運営事業

東急コミュニティー

インフィールド
湘南コミュニティー
第一ビルサービス
東急ビルメンテナンス
東急Re・デザイン
用賀熱供給
TCフォーラム
PT.Tokyu Property Management Indonesia

- 不動産流通事業

東急リバブル

東急不動産股份有限公司
東急リバブルスタッフ
リバブルアセットマネジメント

- 不動産流通事業

東急住宅リース

東急社宅マネジメント
レジデンシャルパートナーズ

- 不動産流通事業

学生情報センター

シグマジパン

東急リバブル

東急リバブル 2023年度 売買仲介取扱高NO.1

東急リバブル(株)では、2023年度に売買仲介取扱高^{※1}が2兆円を超え、業界No.1になりました。



2023年度売買仲介取扱高^{※1}

No.1^{※2}



※1 同社が売買仲介を行った不動産価格の総計(個人向け不動産売買および法人向け不動産売買を含む)
※2 新聞報道(各不動産流通業向け新聞社が選定した主要不動産流通会社20~30社の2023年4月から2024年3月の期間における取引調査結果)等による

COLUMN

東急住宅リース

東急住宅リースグループ設立10周年

東急住宅リースグループは2024年に設立10周年を迎えました。営業開始時に約7.5万戸であった東急住宅リース(株)の賃貸管理戸数は、約14万戸へと拡大しています。また、2023年には本社を浜松町の新オフィスに移転しました。従業員のエンゲージメントを高めることで生産性と業績の更なる向上をめざしてまいります。



新オフィス レセプションエリア

10th Anniversary

TFHD digital

東急不動産 R & D センター

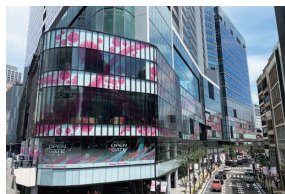
TQ コネクト

リーブロ

株主さまとのコミュニケーション

「渋谷サクラステージ 商業エリア」プレオープンにご招待

2024年7月25日渋谷サクラステージの商業エリアに、ショップ・レストランなど新たに37店舗がオープンしました。商業エリアの一斉オープンに先立ち開催した7月22日のプレオープンに、株主さま向けウェブサイトからご応募いただいた1,000名の株主さまをご招待し、ショップやレストランをいち早くご見学、ご利用いただきました。今後も株主さまに当社グループ事業へのご理解を深めていただくための機会を設けてまいります。



建物外観



来場者受付



フードホール「FOOD MET」

株主様アンケートを実施

当社では、株主優待制度の満足度向上を目的として2024年6月発送の「株主様ご優待券」にて株主様アンケートを実施させていただきました。総回答数は5,487件となり、株主さまから非常に多くのご意見をいただきました。ご回答いただきました株主さまには、心より御礼申し上げます。皆さまからの貴重なご意見を、今後の株主優待制度に反映させていただきます。

アンケート結果



2024年度継続保有株主優遇制度におけるご寄付について(ご報告)

「セーブ・ザ・チルドレン」
寄付金総額 851,600円
(2024年10月末日現在)

寄付金は、緊急・人道支援、保健・栄養、教育、子どもの保護、防災などの分野で活動につなげていきます。



「緑をつなぐプロジェクト(森林保全活動)」
寄付金総額 434,300円
(2024年10月末日現在)

寄付金は、「緑をつなぐプロジェクト」を通じて森林保全活動につなげていきます。



「令和6年能登半島地震災害義援金」
寄付金総額 350,000円
(2024年6月末現在)

寄付金は、被災された方々のため、日本赤十字社を通じて、被災都道府県に設置された義援金配分委員会に全額送金されます。

株主優待制度について

当社では、株主の皆さまに感謝の意を表するとともに、個人を中心とする投資家層の拡大を図り、より多くの方に当社グループ事業への一層のご理解を賜ることを目的として2つの株主優待制度を導入しております。

1 株主様ご優待券とは



当社グループが運営するホテルハーヴェスト・リゾートホテル・ゴルフ場・スキー場、会員制シェアオフィス等をご優待料金にてご利用いただけるご優待券です。年2回(6月末頃、12月上旬頃)に発行しております。

ご優待券とご案内を一冊にまとめています。
有効期間中は、お手元に保管いただき、ぜひご利用ください。



2 継続保有株主優遇制度とは



500株以上、3年以上継続保有の株主さまを対象にポイントを進呈しており、株主さま向けウェブサイトに掲載の豊富な商品(500商品以上)からお好きなものと交換できます。当社の株主名簿に、同一株主番号で、直近7回の割当日(3月末日、9月末日)に保有されていた最小株式数に応じて、進呈いたします。

※ 今回12月進呈対象

3年以上 継続保有 株式数	株主優待ポイント+長期保有感謝ポイント (5年以上継続保有の場合、5年毎に1回・2024年6月発行分より適用)			東急こすもす会 入会資格付与
	6月末頃進呈 (3月末権利確定)	12月上旬頃進呈* (9月末権利確定)	年間合計	
500株～	2,000pt + 1,000pt	—	2,000pt (3,000pt)	—
1,000株～	5,000pt + 2,500pt	—	5,000pt (7,500pt)	—
5,000株～*	13,000pt + 13,000pt	13,000pt*	26,000pt (39,000pt)	—
10,000株～*	27,000pt + 27,000pt	27,000pt*	54,000pt (81,000pt)	○
15,000株～*	42,000pt + 42,000pt	42,000pt*	84,000pt (126,000pt)	○
20,000株～*	60,000pt + 60,000pt	60,000pt*	120,000pt (180,000pt)	○

多くの株式を長期に保有いただくことで優待内容大幅UP!

- ① 多く持つほど進呈ポイントがアップ
- ② 5年毎に1回、ポイントを1.5倍に割り増して進呈
- ③ 1万株以上は東急こすもす会の入会資格付与

新たな交換商品のご案内に関してはP10をご覧くださいませ。

新たな交換商品のご案内(継続保有株主優遇制度)

当社の特徴である全国各地で行う幅広い事業展開を活かした独自性のある株主優待制度をめざし、株主さま向けウェブサイトでは当社グループが運営する複合リゾート施設周辺の産直品を充実してまいります。昨年商品拡充した蓼科に続き、今後順次、那須、勝浦、天城、箱根、浜名湖で各支配人がお薦めする商品をラインナップに加えていきます。



山崎 統括総支配人

箱根エリア

今回は箱根の老舗和菓子やハーヴェストブランドで販売している豆菓子をご用意します。どちらも売店で好評です。一度ご賞味いただければと思います。



御 用邸に隣接する広大な敷地に広がる東急那須リゾートは自然の中に溶け込んでおり静かな時間をお過ごしいただけます。チーズなどの乳製品をはじめ那須牛の加工品など那須らしい商品をご紹介します。



小田 支配人

東急那須リゾート



天 城東急リゾートは、伊豆半島でもっとも高い場所にある高原リゾートで自然に溢れています。地元で製造販売しているワインやビール、お茶や海産物など伊豆をお薦めの商品を多数選びました。



土屋 総支配人

天城東急リゾート



中澤 支配人

東急リゾートタウン浜名湖



ホ テルは湖に面しており開放感のある眺望がお楽しみいただけると思います。浜名湖といえば鰻ですが、他にもみかんや静岡茶、浜松餃子などを中心に商品の充実を図ります。



冬 は温暖で夏は涼しい勝浦は1年を通して過ごしやすく快適で魚介類が豊富です。今回海の幸の充実のほか、勝浦市で応援している地ビールを推薦します。



稲見 総支配人

東急リゾートタウン勝浦

会社概要

商 号	東急不動産ホールディングス株式会社 Tokyu Fudosan Holdings Corporation
設 立	2013年10月1日
資 本 金	77,562,030,000円
従 業 員 数	連結21,170名(2024年3月31日現在)
ホームページアドレス	https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/
所 在 地	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-21-1

役員

取締役会長	金 指 潔
代表取締役社長 社長執行役員	西川 弘典
代表取締役 副社長執行役員	植村 仁
取締役 執行役員	木村 昌平
取締役 執行役員	太田 陽一
取締役 執行役員	星野 浩明
取締役 執行役員	宇杉 真一郎
取締役	野本 弘文
取締役	貝阿彌 誠 ^{※1}
取締役	三浦 惺 ^{※1}
取締役	星野 次彦 ^{※1}
取締役	定塚 由美子 ^{※1}
取締役	宇野 晶子 ^{※1}
執行役員	吉野 一樹
執行役員	橋本 茂
執行役員	池内 敬
執行役員	田中 辰明
執行役員	丹下 慎也
執行役員	西田 恵介
執行役員	山根 英嗣
執行役員	青木 貴弘
執行役員	内藤 秀人
執行役員	鈴木 盛生
常勤監査役	兼松 将興
常勤監査役	榎戸 明子
監査役	武智 克典 ^{※2}
監査役	仲澤 孝宏 ^{※2}

※1印は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
※2印は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況

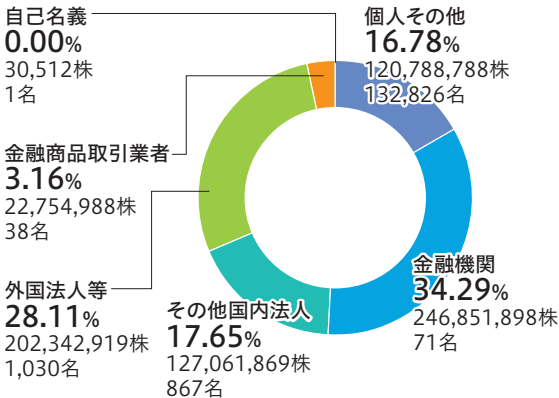
発行可能株式総数	2,400,000,000株
発行済株式総数	719,830,974株
株主総数	134,833名
単元株式数	100株

大株主の状況

株主名	株数(千株)	持株比率(%)
東急(株)	114,479	15.90
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	113,173	15.72
(株)日本カストディ銀行(信託口)	54,851	7.62
東急不動産ホールディングス従業員持株会	12,998	1.81
三井住友信託銀行(株)	12,140	1.69
第一生命保険(株)	11,934	1.66
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505001	11,696	1.63
JPMorgan証券(株)	10,348	1.44
ジェーピーモルガンチェースバンク385781	8,506	1.18
日本生命保険(相)	8,107	1.13

(注) 持株比率は、自己株式30,512株を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定基準日	定時株主総会、期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公 告 方 法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関(郵便物送付先)(電話照会先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 〒168-0063 東京都杉並区泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
(インターネット)(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

特別口座について
株券電子化前に「ほふり」(株証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である三井住友信託銀行(株)に口座(特別口座といいます。)を開設しております。
特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
この冊子は、地球環境に配慮し、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。